



KCP 新聞

2011年6月号

あこがれの 大学に行こう!!!

早稲田から世界へ

5月25日にKCP 地球市民日本語学校で早稲田大学の説明会が開かれた。学生たちは進学についていろいろなことを先生にうかがった。

日本で有名な私立大学といえは早稲田大学が最高だ。歴史も長くて学校の施設もいいし、世界でもいい大学だといわれている。

早稲田大学の学部は全部で13ある。文科系は8つで理工系は5つである。早稲田大学に入る条件は厳しくて難しい。英語試験の成績(TOEFL、TOEICなど)留学試験の成績、中でも一番大切な試験は早稲田大学の校内試験だ。大学では学部を越えて多彩に学べるし、世界とつながることができる。



早稲田大学を卒業した元首相は、今生きている人だけでも6名いる。有名な芸術家、会社の社長なども大勢の人が早稲田の出身だ。早稲田大学は数多くの素晴らしい人材を輩出してきた。日本だけではなく、世界でも教育の質といい歴史といい私立大学の中で最高レベルを誇る。留学生にとって、特に一流大学をめざしている学生にとって今回の説明会は得がたい機会だったと思う。努力なくしては何事もなし遂げられないだろう。

皆さん、私達も自分の高い目標に向けて、あきらめずに最後までやり遂げましょう!

(M6千キンヨウ)



東大に行こう!!

5月28・29日に行なわれた東京大学のこがつきい五月祭に行ってきました!

東京大学 第84回 五月祭

5月29日、この日は雨でしたが楽しみでした。片山先生は私たち学生を東大に連れて行って案内してくださいました。

私たちは赤門から入って、東大の学生に「おいしい料理を食べてみて。ジュースはいかがですか」と誘われました。雨が激しくなってきましたが、学生たちは心から火が出ているように熱心でした。

歩きながら景色を見て、いろいろな写真を撮りました。特に、舞台での音楽が素晴らしいと思いました。



舞台の前に並んで楽しく音楽を聴きました。あとは池に行きました。すばらしい景色ですね。池の近くで、学生が一人で歌を歌っていました。片山先生に案内していただいた後で、みんな一緒に食堂で話をしながら昼ごはんを食べて、うちへ帰りました。

(M331陳剛)

特別講座インタビュー!! おしゃべりする人は幸せだ☆

おしゃべりクラブ

くちかず きょうあくはん あくい
口数が多い凶悪犯を想像するのは難しいです。よく話す人はあまり悪意がないと思います。今回KCPの特別講座の中で一番特別なクラブの一つ、「おしゃべりクラブ」をのぞいてみました。

おしゃべりクラブはやはり始めから終わりまで話を続けていました。けれども、別におしゃべりな人たちに会った気持ちじゃなかったです。先生と学生、みんなまじめでした。このクラブで一番大切なことはテーマでした。いろいろなテーマでおしゃべりしていました。



例えば「^{れんぎょう}連休に休めない仕事は？」「^{がく}学校の教室の温度が28℃になってもクーラーが使えなかったらどうしたらいいですか？」そんなテーマで先生と学生が^{ねっしん}熱心に話していました。

どうですか？参加したくないですか？今の留学はちょっと不安な時期かもしれません。地震と放射能の問題がその理由です。でも**こんな時でもおしゃべりを楽しむ人は元気だ**と思います。そして本当に幸せを知っている人だと思います。おしゃべりクラブのみんなの幸せがぜひKCP学校キムカンのみんなの心に届くことを期待します。 (金完)

リガンさんはどんな日本の歌を聴きますか？



西野カナの歌が好きです。
今度、友達と一緒にコンサートに行きます。

担当の鈴木裕子先生がいろいろな話題で学生に話しかけていました。

メニューはチーズハンバーグ♪



料理教室に参加しました

5月20日、私は料理教室に参加した。メニューは牛肉チーズハンバーグだった。参加した人の中には欧米人も中国人も韓国人もいたが、男の人は2人だけだった。この料理の材料の種類は非常に多かったので、互いに助け合って先生がしたとおりにやったらうまくできた。

私は前の料理教室も参加したが、男の人の方が女の人より料理を作ることが上手そうだった。



私達が作った料理は本当に高級レストランのようにおいしかった。

是非もう一度うちで作りたと思った。
(M331 蔣哲)

地震についてのアンケート



先学期の終わり、3月に大地震があり、皆大変な思いをしたと思う。最近、私達は学校で地震について調査をした。調べた結果、いろいろなことがわかった。

今、皆が一番心配していることはこれから大地震がいつか起きるだろうか、ということだ。また、原発の事故のせいで放射線が体に悪い影響を与えるだろうということだった。

次は地震が起きる前と起きた後で自分の将来についての考えが変わったか、という質問に対して80%の人があまり変わらなかった。日本へ留学に来て自分の夢を叶えるために、どんなに苦しくても最後まで頑張ろうという気持ちをもっている学生の人数が多いことがわかった。

地震で被害にあった人達が今苦しい生活を送っているの、私達はどんなことが手伝えるだろうか。基本的に私達ができることは、たとえば、ボランティアに参加したりお金を寄付したりすること。

また、被災地のために一日も早い回復を祈ること。もっと、熱い気持ちを持っている学生は「すごく大変な時は私の国へきてください」と言った学生もいる。



地震のせいで、原発が使用できなくなったため、東京は電気がたりない。私達は何をしたらいいだろうか。普段の生活の中で私達は使わないコンセントを抜くとかエレベーターは使わないで階段を使うなど、できることから始めよう。

(M6 于キンヨウ M331 陳剛)